

第2章 睦沢教育の基本的な考え方（目指す姿）

1 教育理念

郷土を誇りに人間力の育成と健幸(*2)づくりのまち

2 理念を推進するための根本となる3つの政策

- ① 子供たちが自らの人生を切り拓き、幸福な生涯を実現する教育
- ② 家庭・地域の教育力の向上と、共に支えあう教育
- ③ 生涯にわたって幅広い学びと健幸長寿を目指す教育

3 10年後の子供たち、学校、家庭、地域の姿

《元気な子供たちの姿》

- 学校や地域で様々な体験を通じて、子供たちが道徳性や豊かなコミュニケーションの力を身に付けている。
- ふるさと睦沢の歴史や伝統文化に親しみ、郷土と国に誇りと愛着を持った子供が育っている。
- 全ての子供たちが基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、自ら考え、表現し、問題を解決する力を伸ばしている。
- 全ての子供たちがいじめや暴力などに悩むことなく学校に楽しく通い、「希望の登校・満足の下校」の姿があふれている。
- 人間関係が良好で、明るく元気なあいさつの声が響き、笑顔が満ちている。
- 子供たちが早寝早起き、食事、運動などバランスのとれた生活習慣を身に付けている。
- 子供や若者が「睦沢に生まれて良かった。」と思い、自己肯定感にあふれている。

《元気な学校・家庭・地域の姿》

- 子育てや家庭教育に悩んでいる保護者が気軽に相談できる環境が整い、家庭の教育力が高まっている。
- 子供や若者が健やかに育つための地域コミュニティが形成され、学校、家庭、地域が一体となって、子供や若者の成長を支えている。

- 子供一人一人の個性が輝き、希望や能力を引き出すことができる学習環境が整っている。
- 園・学校が子供たちを健やかに育てるセンター機能を十分に発揮し、子供や保護者・地域から学校への信頼が高まっている。
- 障がいのある子供たちへの理解や支援が広がり、障がいのある子供たちと、障がいのない子供たちが、地域で共に学び、子供たちの笑顔があふれている。
- ニートや引きこもり、不登校だった子供たちや若者たちが、周りの温かい支援によって、生き生きと勉強や仕事に取り組んでいる。
- 子供や若者を取り巻く有害な環境をなくすための取り組みが、地域全体で進められている。

《元気な町民の姿》

- 多くの町民が日常生活の一部として運動に親しみ、体力の向上が図られていると共に、文化活動を通じ、心豊かに暮らす人が増え、地域には活気があふれている。
- 高い目標を持ってスポーツや文化・芸術活動に取り組み、それぞれの分野で活躍している人が増えている。
- 地域の人達によって埋もれていた伝統文化が復活し継承され、その文化が多くの人達との交流を生み、更に新しい現代的な要素が取り入れられるなど、睦沢の文化の魅力が増している。
- 町民一人一人が、様々な睦沢の魅力を再発見することにより、郷土に愛着や誇りを感じられるようになっている。

本計画において、こうした姿の実現を目指し、学校・家庭・地域の全ての力を結集して取り組みます。

* 2 「健幸」 町民が健康で幸せに生活することのできる状態をいう。（「睦沢町健幸のまちづくり基本条例」より）

睦沢町子供あいことば

- ㊦ うれしい おいしい あさごはん
- ㊧ めをみて あいさつ げんきよく
- ㊨ まいにちまなんで まいにちはっけん（小・中）
まいにちあそんで まいにちはっけん（園）
- ㊩ ルールをまもって みんなとなかよし

睦沢町教育振興会生徒指導部作成（２０１５年）

学力アップのための１０か条

- 第 １ 条 規則的な生活習慣を身に付ける
- 第 ２ 条 計画的な家庭学習の日常化を図る
- 第 ３ 条 読書の時間を確保する
- 第 ４ 条 テストやプリントで間違えたところを復習する
- 第 ５ 条 理由を書く習慣付けや、わかったことを活用する
課題に取り組む
- 第 ６ 条 テレビ・ゲーム・携帯はルールをつくる
- 第 ７ 条 学校や家庭での評価を次への意欲化につなげる
- 第 ８ 条 親子のコミュニケーションを大切にする
- 第 ９ 条 興味や理解が深まる授業改善を積極的に図る
- 第 １０ 条 授業力アップのための研鑽を積む

睦沢町教育委員会作成（２０１４年）

（２０１６年一部改訂）

（２０１８年一部改訂）

4 施策体系

